



photo 古屋均



乙女 文楽

第11回 公演

おとめぶんらく

出演 ■ ひとみ座乙女文楽

浄瑠璃 ■ 竹本越孝

三味線 ■ 鶴澤寛也

(傾城恋飛脚)

指導 ■ 故 桐竹智恵子

■ 桐竹勘十郎

演目

二人三番叟

増補大江山酒吞童子
戻り橋の段

傾城恋飛脚
新口村の段

2022年 1月22日(土)・1月23日(日)

【開演】11:00 / 15:00 (開場:開演の30分前) 【料金】前売 3500円 当日 3800円

川崎市国際交流センター ホール (川崎市中原区)

* 当日は開演1時間前より入場整理券を配布いたします。

お申し込み

現代人形劇センター Tel.044-777-2228 E-mail ticket@puppet.or.jp

チケットぴあ Tel.0570-02-9999 Pコード 509432 URL t.pia.jp

イープラス eplus.jp (WEB / アプリ / Fami ポート)

お問い合わせ

(公財) 現代人形劇センター

TEL 044-777-2228 FAX 044-777-3570

E-mail asia@puppet.or.jp URL www.puppet.or.jp



* チケットはモトスミ・ブレイメン通り商店街事務所でも取り扱っております。TEL 044-422-3626

* ひとみ座倶楽部会員の方は料金の優待がございます。(取扱窓口・現代人形劇センターのみ)

主催: (公財) 現代人形劇センター

後援: 神奈川県 / 川崎市 / 川崎市教育委員会 / (公財) 川崎市文化財団

(公財) かわさき市民活動センター / (公財) 川崎市国際交流協会

(公財) 日本伝統文化振興財団 / 川崎商工会議所

NPO法人日本ウニマ (国際人形劇連盟)

協力: 森とせらぎネット / 井田中ノ町商栄会 / モトスミ・オズ通り商店街

川崎市民俗芸能保存協会 / モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合



ひとみ座乙女文楽

創始者桐竹門造の直弟子である故・桐竹智恵子に1967年から教えを受け、翌68年に初公演。以来50余年にわたって、国内はもとより世界各地で公演し、近年は地域に根ざしたさまざまな普及活動にも力をいれています。智恵子師亡き後は2010年より文楽の桐竹勤十郎師に指導をおおいでいます。メンバーは人形劇団ひとみ座の女性演技者です。2018年「川崎市地域文化財」認定。2019年「松尾芸能賞特別賞」受賞

乙女文楽とは？

「文楽」はユネスコの「無形文化遺産」にも登録された日本を代表する伝統人形芝居。1体の人形を3人で操ることで、感情やしぐさを繊細に表現します。それに対し「乙女文楽」は、1人の人形遣いによって演じられます。大正末から昭和初期に文楽の人形遣い五世桐竹門造らによって誕生し、1人で遣うために、人形の仕組みと操り方にさまざまな工夫がなされています。女性ばかりで演じられる華やかな舞台もみどころです。

■ 演目紹介

二人三番叟

「三番叟」は祝儀や儀礼の曲として古くから各地の人形芝居や神楽、能、歌舞伎などの伝統芸能で重要な演目として扱われてきた。近世に多くのバリエーションが生まれたが、ここでは性格の異なる2人の三番叟が登場する。



■ 主な配役

1月22日

〔1時〕村松有紀 安藤麻衣

〔15時〕日比英理子 田川陽香

1月23日

〔1時〕日比英理子 田川陽香

〔15時〕村松有紀 安藤麻衣

増補大江山酒呑童子 戻り橋の段

ときは平安時代。京都一條の戻り橋には夜毎鬼が出る
と恐れられていた。ある夜、源頼光の家来、渡辺綱が
戻り橋に差し掛かると、そこに美しい女が佇んでいた。
「五条まで行くところ」という女を、綱は送り届ける
ことにするが、一緒に歩き始めると、なんと川面に映っ
たその姿は恐ろしい鬼女であった。綱は、気付かぬ素
振り、鬼女との虚々実々の駆け引きを繰り返して、や
がて「魔性の者、本性を表せ」と詰め寄って激しい戦
いとなるのだった。
大江山の鬼退治の伝説で有名な源頼光の家来を主人公
として、鬼女との戦いを描いた舞踊劇。美女が一瞬に
して鬼女に変わる仕掛けをもつ「ガブ」というカシラ
や、激しい立ち回りがみどころ。

■ 主な配役

1月22日

〔鬼女〕山下潤子

〔綱〕蓬田雅代〔1時〕
松本幸子〔15時〕

1月23日

〔鬼女〕山下潤子

〔綱〕松本幸子〔1時〕
蓬田雅代〔15時〕

傾城恋飛脚 新口村の段

大阪の飛脚問屋亀屋の忠兵衛は遊女梅川と深い仲とな
り、通いつめたあげく公金を使い込み、お尋ね者となっ
てしまふ。二人は大阪を逃れ、忠兵衛の故郷、大和の
新口村までたどりつくが、村にはすでに噂が広まり、
追っ手も迫っていた。そして忠兵衛の父孫右衛門は、
息子の身を思いひそかに胸を痛めている。降りしきる
雪の中、はからずも二人は父と行き会おうが、互いに心
情を押し殺し、言葉を交わすこともできない。嫁で
ある梅川はその父に救いの手をさしのべる……
近松門左衛門の名作をもとに後世に改作され、その後
繰り返し上演されている人形浄瑠璃の名作。

■ 主な配役

1月22日

〔孫右衛門〕松本幸子〔1時〕

蓬田雅代〔15時〕

〔梅川〕亀野直美

〔忠兵衛〕蓬田雅代〔1時〕

松本幸子〔15時〕

1月23日

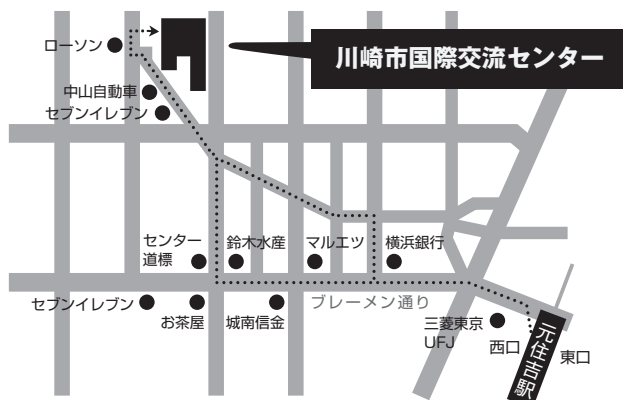
〔孫右衛門〕蓬田雅代〔1時〕

松本幸子〔15時〕

〔梅川〕亀野直美

〔忠兵衛〕松本幸子〔1時〕

蓬田雅代〔15時〕



会場：川崎市国際交流センター

〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町2-2
TEL. 044-435-7000

会場アクセス

東急東横線・東急目黒線
「元住吉駅」西口下車徒歩 10分～12分